

・看護実践の基礎となる知識の充実と内容の工夫

- ・解剖学と生理学ではなく「体のしくみ」として
- ・薬理学は2科目必修「薬の基礎科学」「臨床薬理」
- ・アセスメント能力の育成「ヘルスアセスメント」
- ・基礎科目と看護の科目の連動
(例、病態治療論Ⅰ 急性期看護論)
- ・その他

9

・知識が「のこる」あるいは少しでも「わかる」ために

- ・理論と実践をできるだけ関連づける
 - 1) 早期に実習にでる
 - 2) 授業と実習を同時進行で (H21より変更予定)
- ・学び方を学ぶ (自己学習能力の育成)
 - ・1年次(文献の探し方と批判的読み方)
(問題に基づく学習法 PBL)

10